

# 「スリビト」で実現する新たな人材確保策

## —中小印刷会社と経験豊富なシニア層のマッチングサービス

(株)3beat

中小印刷会社の人手不足・人材不足が喫緊の課題として浮き彫りとなっている。株式会社3beat（小倉健社長、本社・東京都墨田区）は、中小印刷会社と豊富な経験を持つシニア層をマッチングする新たなサービス「スリビト（刷り人）」を開発した。新会社設立の目的やサービス内容、今後の印刷産業におけるシニア雇用について小倉社長に話を聞いた。

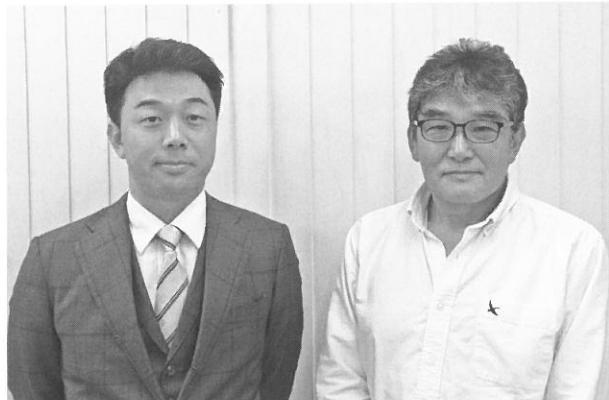
### ▶ 「すべてのひとに働く機会を」

#### —新会社の目的について教えてください。

私どもはもともと、父の代から40年以上にわたって製版業を営むビケングラフィック（株）を運営しています。その過程で、印刷組合の活動や業界関係者との交流を通じて、多くの企業が抱える課題に触れる機会がありました。その中でも特に深刻だったのが、人材不足の問題です。

印刷業界全体における人材不足は、長年の課題であると感じていました。ビケングラフィックでは「個性を生かす」という経営方針を掲げていますが、この理念は私個人の信念でもありました。この業界を盛り上げることが、ビケングラフィックの生存戦略としても必要不可欠だと考えています。そして、人材問題を解決することがその鍵になると実感しました。

派遣社員の活用など、各社が工夫されていますが、現場で必要な技術を持つ人材を即戦力として迎えることは非常に難しいのが現状です。そのため、来た人材を一から教育する必要があります。これが大きな負担となっています。この課題を解決するために何ができるのかを模索した結果、今回の新会社設立に至りました。



「シニアの方々に寄り添い、経験を活かした働く場を提供していくたい」と語る小倉社長（左）と村上取締役

—サービスを形にするに当たり、何かアイデアはあつたのでしょうか？

ビケングラフィックでも、従業員が定年を迎えるケースが増えてきました。まだ働く能力や意欲があるにもかかわらず、制度上の理由で退職せざるを得ない状況に課題を感じていました。

ところで、スキマ時間に働く「タイミー」というサービスをご存じでしょうか。ビケングラフィックで利用してみましたが、非常に面白い仕組みだと感じました。タイミーは主に若年層向けの短時間パートですが、この仕組みをシニア層に適用できないかと考えました。そこで、シニア層の技術や経験を把握し、それを印刷業界の需要とマッチングさせて派遣する仕組みを作れば、業界全体の人材不足解消につながるのではないかと考えました。繁忙期に必要な人材をスポットで派遣し、閑散期には人件費の負担を軽減する仕組みが実現できれば、印刷業界全体の持続力が高まるはずです。

新会社「3 beat」は、「すべてのひとに働く機会を」

という理念を掲げ、シニア層の雇用創出を目指しています。この取組みが業界の人材問題解決に少しでも貢献できればと考えています。

## ▶ 経験豊かなシニア層と印刷会社をつなぐ仕組み

—繁忙期に必要な人材を確保できる仕組みは、印刷会社にとっても非常に有益なサービスですね。

ありがとうございます。ただ、今回の取組みは技術を前提としたサービスなので、「タイミング」のように即時にマッチングするのは難しい面もあります。そのため、スーパーバイザーとして当社が間に入り、企業のニーズを詳細にヒアリングした上で、登録いただいたシニアの方のスキルを把握し、『この方なら適任では?』と判断してマッチングする形を取っていきます。

定年退職を迎えた65歳以上のシニアの方々が、まだ十分に働けるのに職場を離れざるを得ない状況を変えたいと考えています。登録いただければ、自社だけではなく、他の会社での働き先も提供できます。企業にとっては、経験豊富な人材を確保する機会にもなるため、双方にとって有益な仕組みだと考えています。

## ▶ 人材不足への新たなサービス

—具体的に、どのようなサービスが提供されるのでしょうか?

主に3つのサービスを通じて、中小印刷会社の「人にかかる経営課題を支援します。

### 1. スリビト(刷り人)

印刷業界出身のシニア人材と中小印刷会社をマッチングします。シニア層の経験豊かな印刷技術者が、人手・人材不足を補い、印刷業務の品質を守ります。サービスは「スポット契約」「長期契約」「技術指導」の3つの形態で提供され、必要なスキルを持った人材を柔軟に提供します。

### 2. スリビト依頼人(いらいにん)

中小印刷会社が抱える経営課題をサポートするため、スーパーバイザーが伴走支援を行います。人材不足へ

の対応、従業員の高齢化に対する法改正への準備、デジタル化の支援まで、幅広いサポートを提供します。

### 3. スリビト仕事人(しごとにん)

印刷業界出身のシニア層が、フリーランスとしての活動を支援するサービスです。年金、社会保険、確定申告など、フリーランスとして働くためのサポートを提供します。また、将来的には、サロンやセミナーも予定し、シニア層が働きやすい環境を整えていきます。

「依頼人」は「このような人材がほしい」と要望する企業側で、「仕事人」はシニア層の技術を活かして働く側です。

たとえば、「依頼人」の企業が新しい人材を採用しても教育する時間や人手が不足している場合、「仕事人」として技術を持つシニアの方が指導役を兼ねて働くことも可能です。単なる人材派遣ではなく、技術承継や経営支援も視野に入れており、業界全体の課題解決に寄与できる仕組みを目指しています。

—65歳以上のシニア層がフリーランスとして活躍できる場を提供していくという考えですね。

そうです。高齢者雇用安定法やフリーランス新法が促進する働き方改革を踏まえ、65歳以降のシニアの方々にフリーランスの形で働くことを支援していきます。フリーランスになると税金や年金、確定申告といった問題に不安を感じる方も多いので、私たちがその部分もサポートします。これにより、年齢に関係なく安心して仕事を続けられる環境を整えたいと考えています。フリーランスや仕事に関する悩み、スマホ、パソコンの操作などちょっとした疑問にも気軽に相談できるサロンを設け、シニア同士が交流できる場を提供したりすることも考えています。定年後のコミュニティづくりを含めてフリーランスで仕事をするための支援を行っていきます。

## ▶ 業界団体を通じて登録者を呼びかけ

—どのように「依頼人」や「仕事人」の登録を増やしていく考えですか?

現在は、ビケングラフィックで築いてきた印刷関連